

ケーブル防災設備協議会工法表示ラベル請求用

耐火シートマルタイプは、ケーブル防災設備協議会の登録工法です。
製品に同梱している工法表示シールではなく、ケーブル防災設備協議会の工法表示ラベルが必要な場合には発行いたします。

- 【注意】
- ケーブル以外の配管貫通部には、工法表示ラベル(ケーブル防災設備協議会)を貼らないでください。
 - 認定外の施工については、ラベルの発行をいたしません。
 - 後日お電話にて施工箇所数、送り先などの確認をさせて頂くことがあります。

■「工法表示ラベル」について

耐火シートマルタイプは、ケーブル防災設備協議会の登録工法です。
ケーブルの防火区画貫通処理にご使用の際に工法表示が必要な場合に発行いたします。ケーブル貫通用として使用されているかをご確認の上、ご請求ください。
施工会社は、正しく施工したことを確認し、「施工会社名」、「講習会修了番号」(ケーブル防災設備協議会主催 ケーブル防火区画貫通措置に関する講習会 受講修了者の場合)、「施工年月」をボールペンで記入して見やすい場所に貼り付けてください。「工法表示ラベル」は、1貫通穴に1枚です。

ケーブル防災設備協議会 工法表示ラベル請求カード

因幡電機産業株式会社 技術開発センター

工法表示ラベル担当者 行

FAX (06) 6618-1787

IKS-N 耐火シートマルタイプ

国土交通大臣認定番号：PS060FL-0280(床)
PS060WL-0757(壁・中空壁)
PS060FL-0600(床・中空床)

- ※ 下記空欄にご記入の上、FAXにてお送りください。
※ 楷書体でご記入ください。 ※ 現場単位でまとめて1枚のご請求カードでお送りください。

▼ 施工内容

現場名	
所在地	
施主名	
建築施工会社名	
設備施工会社名	
ご購入店	TEL () -

▶ **ご請求枚数** ケーブル貫通部の防火措置工法表示ラベルご請求枚数 枚
(注)工法表示ラベルは、1貫通穴に対して1枚必要です。

▶ **施工のご確認** 取扱説明書に基づき施工完了しました。
ケーブル貫通用として使用しました。
上記をご確認の上で署名および捺印してください。 (印)

▼ **送付先** 【メール便(送料無料)・宅配便(着払いのみ)】※メール便はラベルのお届けまでに3~4日+郵送期間が必要になります。

貴社名	
所属部署	ご担当者名
ご住所	〒
TEL	() -

※施工現場への送付をご希望の場合は、現場名までご記入ください。

INABA DENKI

因幡電機産業株式会社
http://www.firepro.jp/

●生産技術本部 技術開発センター 技術部 TEL (06)6618-1784 FAX (06)6618-1787

ケーブルの防火区画貫通部耐火措置部材



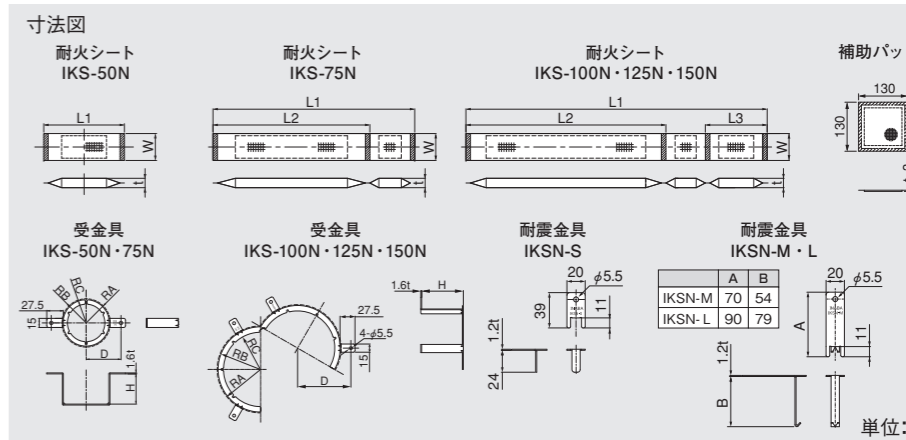
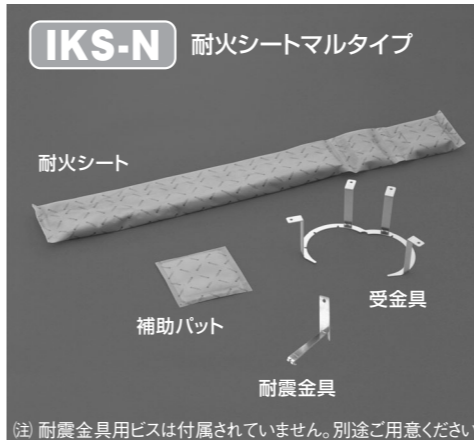
IKS-N 耐火シートマルタイプ 取扱説明書

国土交通大臣認定番号：
PS060FL-0280(床)
PS060WL-0757(壁・中空壁)
PS060FL-0600(床・中空床)



- 中空床は、IKS-50N、75N、100Nが認定範囲です。
- 施工は内線規程に基づいて行ってください。
- ご使用の際は、同梱されています取扱説明書及び認定書をよくお読みください。
- ケーブルサイズ選定の際には、認定書に記載の開口孔径、占積率及び金具最小内径を共に満たすことを確認し、サイズ選定を行ってください。
- 中空壁・中空床への施工には板厚0.25t以上の鋼製スリーブが必要です。
- 耐火シートは曲げたり圧縮したりすることができますので、ケーブルの配線状況や形状、隙間の大きさなどに合わせて変形させ、隙間の無いように詰めてください。
- 耐火シートは、熱によって膨らむことにより隙間を閉塞する機能がありますが、「開口部に隙間なく詰める」ことを基本とし、施工はていねいに行ってください。
- 耐火シートに支持機能はありませんので、別途設置してください。
- 防水機能はありません。直接雨水がかかると常に高湿度となるような場合には使用しないでください。
- 屋外でご使用の場合は、紫外線、雨水などが当たらないように処置を施してください。
- 防火区画貫通措置部の上には乗らないでください。開口部を破壊する恐れがあります。
- 合成樹脂可とう電線管及び光ファイバーケーブルは壁貫通のみに適用可能です。
- 必要に応じて補助パットを使用し、すき間が無いことをご確認ください。
- 床・中空床の場合は、耐震金具を使用しないでください。
- 耐震金具使用時は、必ず市販のM4×25mm以上のビスで壁と固定してください。

■仕様



型番	部品寸法 (mm)										耐震金具	補助パット	取扱説明書(枚)	工法表示シール(枚)
	耐火シート					受金具								
	L1	L2	L3	W	t	RA	RB	RC	D	H				
IKS-50N	190	-	-	50	21	27.5	26	18.5	45	50	IKSN-S : 1	-	1	1
IKS-75N	430	330	-	50	21	40	38.5	31	58	50	IKSN-M : 1	-	1	1
IKS-100N	645	436	128	50	21	55	53.5	43.5	73	50	IKSN-M : 1	1	1	1
IKS-125N	795	580	130	75	24	67.5	66	56	85.5	75	IKSN-L : 1	1	1	1
IKS-150N	1055	813	179	75	24	80	78.5	68.5	98	75	IKSN-L : 1	1	1	1

■適合開口径、占積率及び最適ケーブルサイズ

型番	適合開口径 呼び径(孔径)(mm)	占積率	最適ケーブル サイズ
IKS-50N	50(φ55)以下	24.84%以下*	600V 38mm ²
IKS-75N	75(φ80)以下	25.76%以下*	600V 100mm ²
IKS-100N	100(φ110)以下	25.76%以下*	600V 200mm ²
IKS-125N	125(φ135)以下	23.37%以下	600V 250mm ²
IKS-150N	150(φ160)以下		

(注) 中空床は、IKS-50N、75N、100Nのみ対応※中空床の場合37.2%以下

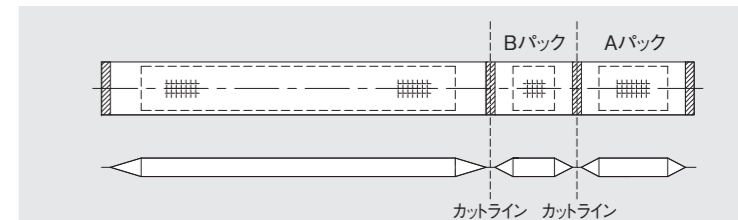
■区画の構造

- 床の構造 … 鉄筋コンクリート床、ALC床 <厚さ100mm以上>
… 中空床 <厚さ284.5mm以上>
壁の構造 … 鉄筋コンクリート壁、ALC壁、中空壁 <厚さ 70mm以上>

■Aパック及びBパックのカットについて

IKS-100N・125N・150Nは、ケーブルの収納状況によって、Aパック・Bパックをカットして使用して下さい。下表にカット条件を示します。

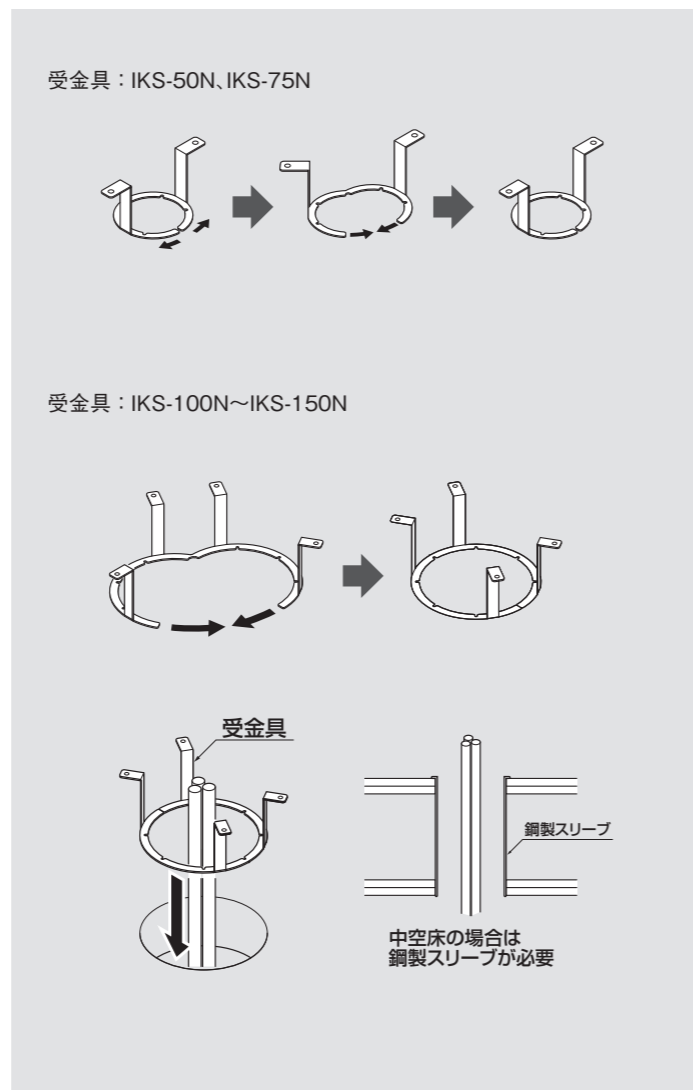
(注) IKS-75NにBパックはありません。



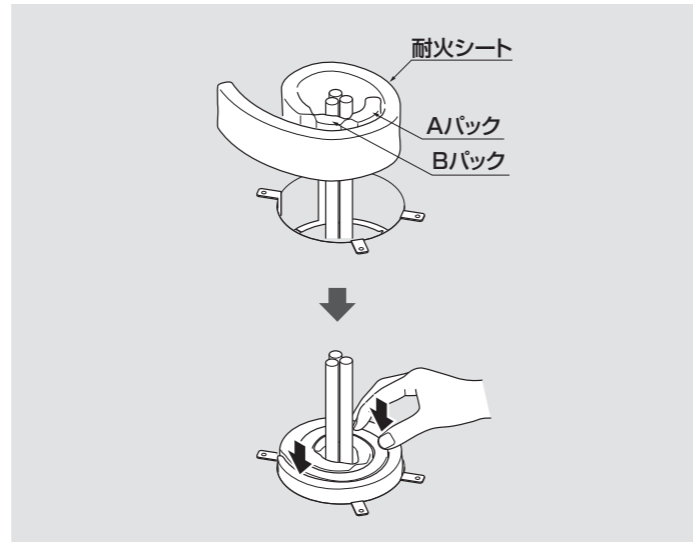
型番	Aパックのカット条件	Bパックのカット条件
IKS-75N	CVT-100mm ² 超	-
IKS-100N	CVT-100mm ² 超~CVT-200mm ² 以下	CVT-200mm ² 超
IKS-125N	CVT-150mm ² 超~CVT-250mm ² 以下	CVT-250mm ² 超
IKS-150N	CVT-200mm ² 超~CVT-(250+100)mm ² 以下	CVT-(250+100)mm ² 超

■ 床工法《施工手順》

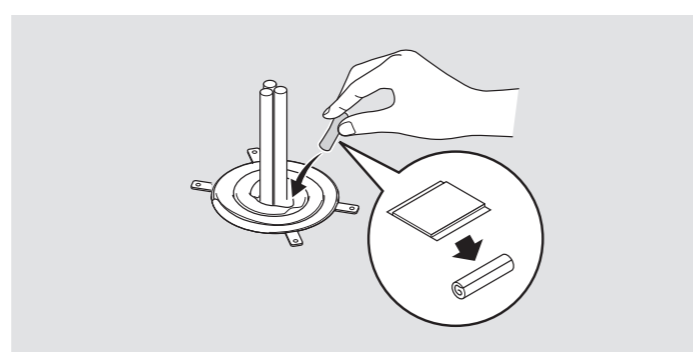
- ① 受金具の開いている方を閉じながら、開口部に挿入してください。
 (注) IKS-50N及び75Nは、金具を一度開いてから、開口部に挿入してください。
 (注) 施工し難い場合は、コンクリート用タッピングビスなどで金具を固定してください。
 (注) 何度も開閉を繰り返さず、必要最小限にとどめてください。
 (注) 中空床の場合は板厚0.25t以上の鋼製スリーブを入れてください。



- ② 耐火シートをケーブルに巻き付けるように、開口部に挿入してください。
 (注) 耐火シートは外周部から開口部に挿入し、その後全体を押し込んでください。
 (注) Aバック及びBバックは、P.1に示すカット条件に従ってカットしてご使用ください。
 (注) 巻き付ける際は、Aバック及びBバックを内側にして巻き付けてください。

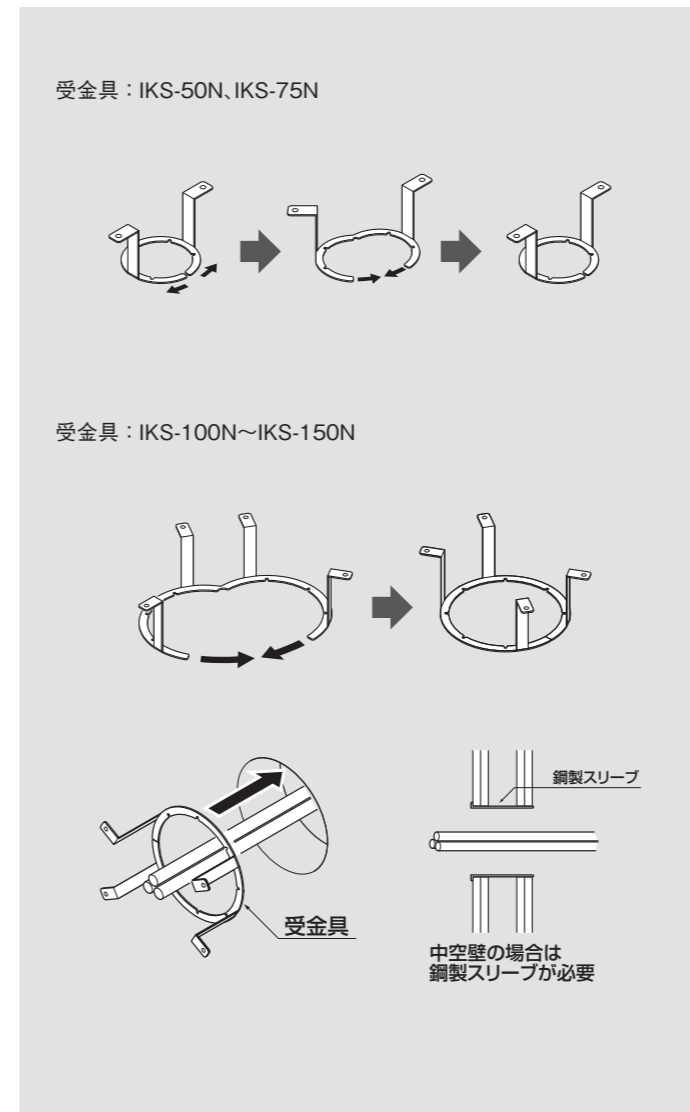


- ③ 耐火シートが脱落したり隙間を生じたりすることがないように、全体になじませ、隙間がないことを確認してください。
 (注) 隙間がある場合は、補助パットやカットしたAバック、Bバックを隙間に挿入してください。
 (注) IKS-50N、75Nには補助パットはありません。

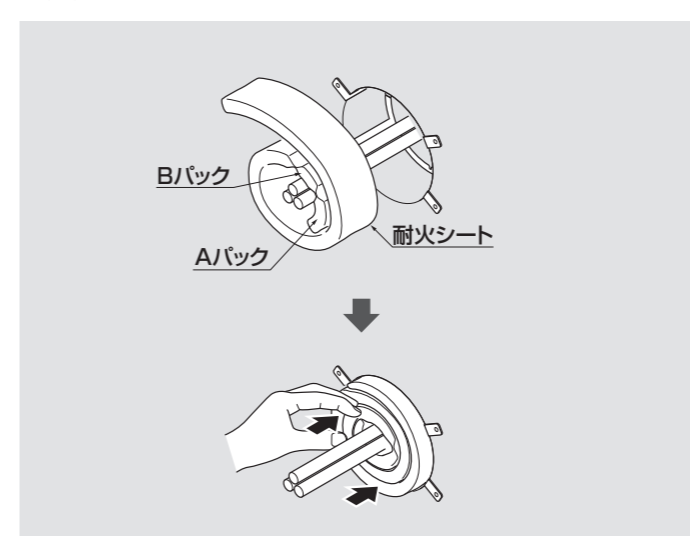


■ 壁工法《施工手順》

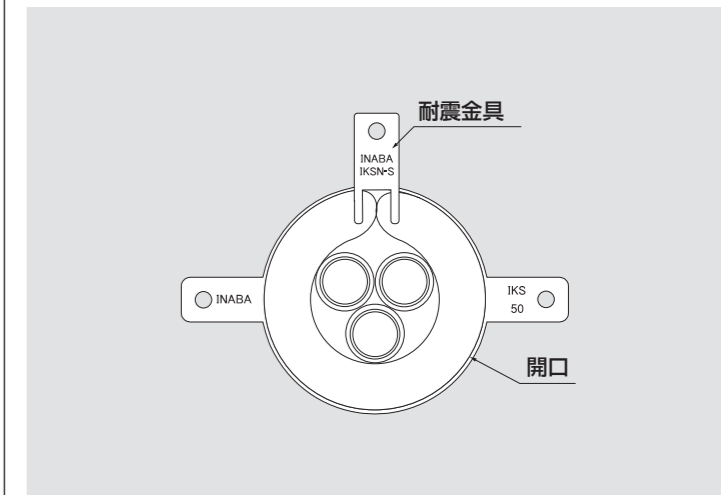
- ① 受金具の開いている方を閉じながら、開口部に挿入してください。
 (注) IKS-50N及び75Nは、金具を一度開いてから、開口部に挿入してください。
 (注) 施工し難い場合は、コンクリート用タッピングビスなどで金具を固定してください。
 (注) 何度も開閉を繰り返さず、必要最小限にとどめてください。
 (注) 中空壁の場合は板厚0.25t以上の鋼製スリーブ(当社EZSなど)を入れてください。



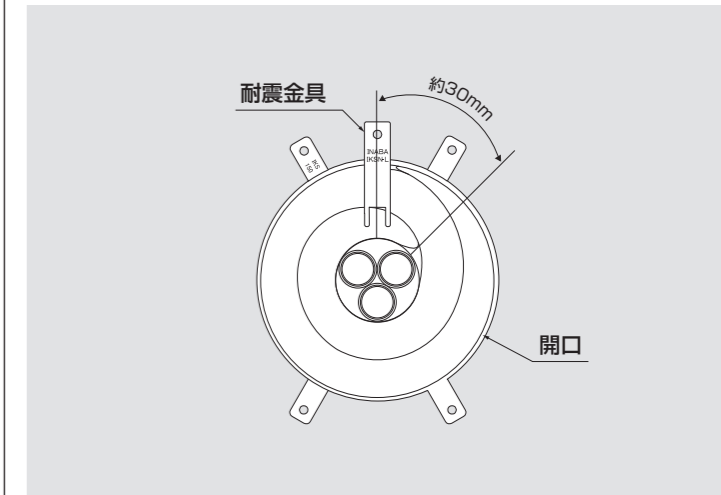
- ② 耐火シートをケーブルに巻き付けるように、開口部に挿入してください。
 (注) 耐火シートは外周部から開口部に挿入し、その後全体を押し込んでください。
 (注) Aバック及びBバックは、P.1に示すカット条件に従ってカットしてご使用ください。
 (注) 巻き付ける際は、Aバック及びBバックを内側にして巻き付けてください。



- ③ 耐震金具の挿入
 <IKS-50Nの場合>
 シートの巻き始め箇所、開口に合わせて耐震金具を差し込んでください。



- <IKS-75N、100N、125N、150Nの場合>
 シートの巻き始めから約30mmの箇所の1周目と2周目の間に耐震金具を差し込んでください。



- ④ 耐震金具の固定
 耐震金具のビス穴(φ5.5mm)に市販のM4×25mm以上のビス(金属製の壁の構造を考慮したビス)で壁と固定します。
- ⑤ 耐火シートが脱落したり隙間を生じたりすることがないように、全体になじませ、隙間がないことを確認してください。
 (注) 隙間がある場合は、補助パットやカットしたAバック、Bバックを隙間に挿入してください。
 (注) IKS-50N、75Nには補助パットはありません。

